

対象	小学校高学年以上
教科	体育科
該当 単元	小学5年 「タグラグビー」
教科書	光文書院等
掲載日	2019.7.30. 夕刊東海本社版 8面

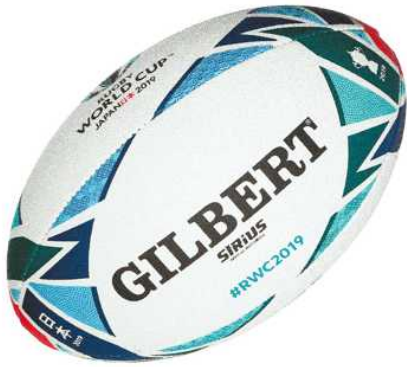
# 「究極」ボールデビュー

九月に開幕するラグビーのワールドカップ（W杯）日本大会は、ニュージーランドなどの伝統国以外では初の開催となる。一九九五年の第三回大会から公式球を供給する英ギルバートは今回、新モデル「SIRIUS（シリウス）」の写真を開発。これまでより扱いやすく、関係者が「現時点では究極」と評するボールで、歴史的な大会の盛り上げを担う。



特徴は滑り止めの役割を果たす表面の突起が、名前の由来となった恒星シリウスと同様、大

## 公式球「シリウス」



小二種類の星形になっていること。従来の丸形と比べて20〜30%表面積が広がり、手のひらに引っ掛かる形状にすることで持ちやすくなった。販売を手掛けるスズキスポーツの鈴木次男社長は「びしっとグリップする感

## 星形突起、手にフィット

じ」と太鼓判を押す。

選手がこれまでと変わらない感覚で扱えるよう、表面の素材などは変えず、球を形成する四枚のパネルも同じ型でつくられている。限られた条件で性能向上を実現するための工夫が突起の形状変更だった。

かつては表面に革が使われ、ぬれると滑りやすくなったり水を吸って重くなったりする難点があった。ボールに触れる機会の多いポジションの選手は軍手をしてプレーすることもあったという。

イングランド協会の資料によると、合成素材のボールが初めて登場したのは七五〜七六年シーズン。その後は徐々に滑りにくいものへと改良が進み、扱いが容易になっていった。

鈴木氏はシリウス開発の狙いを「ハンドリングの向上が目的。キックよりハンドリング、パスワークが主役になるように」と説明する。タックルされながらつなぐオフロードパスが決まる場面も多くなりそうで「どういふ結果になるか楽しみ」と本番を心待ちにしている。



ラグビーボール 楕円形（だえん）形をしているのは、黎明（れいめい）期に内部の空気袋として豚のぼうこうを利用していたことに由来する。1870年頃に空気袋にゴムが採用されたときも、この形は変わらなかった。現在の規格は国際統括団体ワールドラグビー（WR）によって定められており、革または合成皮革素材の4枚張り、重さは410〜460gとなっている。

問1：公式球の表面の突起は、何の役割を果たしていますか。

問2：突起を大小二種類の星形にする利点は何でしょうか。

発展：ラグビーボールが楕円形をしている訳を説明しましょう。

## 【活用にあたって】

小学校の体育では、実技に取り組み、技能の習得が主になると思います。その一方で、子供にとって未知のスポーツを指導する際、効果的なオリエンテーションを行うと意欲を高めることができます。

本資料は、ラグビーボールがどうして楕円形をしているのか、表面の突起はなぜあるのか等、多くの子供が疑問に持ちそうなことを理解することができます。小学生だけでなく、中学生、高校生でも使用できます。

### 解答例

問 1 : 滑り止め。

問 2 : 従来の丸形と比べて 20～30% 表面積が広がり、手のひらに引っ掛かる形状にすることで持ちやすくなった。

発展 : 黎明期（初期）に内部の空気袋として豚のぼうこうを利用していたことに由来する。